

《第1回 被災地の移動送迎支援活動セミナー》

大災害時における
障がい者・移動制約者の実態と、
必要な移動送迎活動の課題

関西の地で“移動制約者の自由な移動の確保”に心を寄せてこられた皆さん。2011年3月の東日本大震災から4年目を迎えた今も、被災地においては“移動手段の確保”が行き届いておらず、多くのニーズに対応しきれていない状況が続いています。

私たちは、阪神淡路大震災の苦い経験と教訓を生かしながら、NPO 全国移動ネット（全国移動ネット災害支援の会）やNPO ゆめ風基金の皆さんとともに共同で被災地（宮城県、岩手県、福島県など）への移動送迎支援の取組みを継続してきましたが、今年（2014年）になってやっと「被災地における障がい者、移動制約者への移動送迎支援活動基金（略称：ももくり送迎基金）」を設立するに至りました。

被災地における持続した生活支援としての移動送迎支援活動には、広域でのネットワークが必要であり、今後の新たな自然災害（地震、噴火、豪雨、台風など）への初期初動支援にも有機的につなげて行かなければなりません。そして交通基本法、道路運送法などの制度的な点検作業や、災害時の諸活動は平時（通常）での取組みの進展度合いが大きく左右することなどが、「ももくり送迎基金」の設立を加速させたといえます。

今回の《被災地の移動送迎支援活動セミナー》は、「ももくり送迎基金」として第1回目のセミナーとなり、被災地での日常的な行政、医療、各地の支援団体グループとの連携や現地スタッフの養成、今後の自然災害支援活動時にもつながる支援体制の整備などの課題について、被災現場からの報告を交えて、参加者全体で考えていきたいと思えます。多くの心ある皆さんのご参加をお待ちしております。



大災害時における
障がい者・移動制約者の実態と、必要な移動送迎活動の課題

■ 日時：2015年 **2月7日**（土）13:30~16:30

■ 会場：栗東芸術文化会館さきら
（滋賀県栗東市糺2丁目1-28 /裏面に地図あり）

■ 資料代（カンパ）：500円

■ 主催：被災地における障がい者、移動制約者への移動送迎支援活動基金
関西 STS 連絡会
（略称：ももくり送迎基金）運営委員会

【問合せ】ももくり送迎基金：TEL/FAX:06-6636-6360 E-mail:momokuri-sts@e-sora.net

■ 協力：NPO 法人ゆめ風基金、NPO 法人子どもネットワークセンター天気村

セミナー次第

講演

- 「災害時における障がい者・移動制約者の実態と必要な移動送迎支援活動」
・ 講師：吉田 樹さん（福島大学 経済経営学類 准教授）

被災地からの報告

- 「原発人災の現状と移動送迎支援活動の課題」
・ 報告：大山 重敏さん（福島県移動サービスネットワーク）

移動送迎支援活動報告（滋賀の現状と課題）

- ・ 報告①：NPO 法人 子どもネットワークセンター天気村（予定）
- ・ 報告②：NPO 法人 ディフェンス（予定）
- ・ 報告③：NPO 法人 志賀地域暮らしの足を考える会（予定）
- ・ 報告④：（社福）ぽてとファーム事業団（予定）

まとめ（行動提起）

- ・ 柿久保 浩次さん（基金運営委員会・委員長）

吉田 樹さん・プロフィール：

福島大学 経済経営学類 准教授（うつくしまふくしま未来支援センター兼務）。2007年東京都立大学大学院都市科学研究科博士課程修了。首都大学東京都市環境学部リサーチ・アシスタント、同助教を経て、12年3月より現職。専門分野は、地域交通計画、地域観光政策。国土交通省社会資本整備審議会、同交通政策審議会の臨時委員として、交通基本法案の検討に関わる。

- JR 東海道本線「栗東駅」
（大阪から約60分、京都から約25分）
——栗東駅東口より約400m（徒歩5分）



（申し込み用紙）

氏名	
団体名	
団体住所 及び連絡先	〒 _____ 電話番号（ _____ ） FAX 番号（ _____ ）

個人情報保護法に基づき提供された個人情報はその目的以外の用途には利用しません。

FAX. 06-6636-6360